

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年 5月 12日

事業所名 Kidsさぽーとあかつき

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			法令を遵守したスペースを設けている。
	2 職員の配置数は適切である	○		行き届いて見れるように必要以上の配置をしている	法令で必要とされる配置数に加え、それ以上の指導員を配置している。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		籠りたい時やリラックスしたい時のスペース分けをしている。	おもちゃ箱、荷物の棚、靴棚等視覚でわかるように配置し、視覚過敏や大勢の所が苦手等特性に応じてスペースを配慮している
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		個別と集団活動の空間を確保している。	毎日の清掃、消毒の徹底をしている。子ども達に合わせ、集団活動・個別活動のしやすい配置にしている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日、振り返りをした記録を共有している。	PDCAでの目標を立てミーティングの振り返り等で問題解決や業務改善に努めている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者向け評価表は今回が初めてになるが、保護者の生の声を聞き、業務改善や活動内容の向上につなげている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		この自己評価は今回が初めてになるので今回ホームページ等で公開する。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		社会状況により行えていないが、業務改善に繋げていけるように今後検討していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		利用児の特性や症状について調べ、利用児と照らし合わせて研修を行っている。	研修は毎月1回行っている。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者や先生等との聞き取り等情報共有に努めている。	計画期間ごとに聞き取りや情報共有に基き個別支援計画を作成している。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントツールを用いて随時改良更新を行っている。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			ガイドラインに沿って発達支援・家族支援・地域支援を組み合わせた支援を行っている
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に沿って楽しめるプログラムを工夫している。	支援計画を基に組み合わせや工夫をして支援している。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		それぞれ違う観点で案を出し工夫している。	保育士、指導員等、職員間で話し合い立案している。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用児や保護者の方の意見にも耳を傾け、工夫している。	利用児の個性・特性・興味に応じて、集団生活や個別活動の機会を持てるように工夫している。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		利用児のその時の状態や状況に合わせて計画を考えて作成している。	利用児に合わせて、集団活動と個別活動を体験できるように組み合わせる計画を作成している。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日々の留意事項や関わり方をその都度口頭他チャットやボードで共有。	支援前のミーティングで、その日の利用児に合わせ関わり方や留意事項を確認し保護者や学校からの報告も口頭とホワイトボードで共有している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日の振り返りに基づき気づき等の話し合いをしている。	毎日、利用児全員の振り返りを行い、経過記録を記入し、気付いた事や改善項目を共有し、今後の支援の改善に努めている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の支援などの記録をチャットなどで共有している。	連絡帳や振り返り等の記録を徹底し、支援の検討改善につなげている。
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		利用児の成長や状況の変化に応じて見直しを判断している。	定期的モニタリングを行い、課題や到達度を確認しながら支援計画の見直しの必要性を判断している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者等、利用児の状況や様子をしっかりと把握して参画し情報共有を図っている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			食事の仕方や立位等のアドバイスを受けたりして支援を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			保育園や幼稚園等との聞き取りや支援内容等の情報共有に努めている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		送迎時には担当の先生とその日の聞き取りや情報共有に努めている。	学校や支援学校等と支援内容の情報共有に努めている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他事業所等の助言等を受け実践している。	発達支援センター等から助言などを受け実践している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			公園や広場等で障がいのない子ども達と一緒に遊んでいる。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		コロナ禍の影響で参加できていない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者の方とは出来るだけたくさん話すようにしている。	連絡ノートの他に直接に話し合ったり電話でも発達の状況や状態を共有している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			ペアレント・トレーニングは実施していないが相談やアドバイス等は行っている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		出来るだけ解りやすく端的に説明するようにしている。	ご契約時に必ず読み合わせを行ない、説明を行った上、ご確認いただいている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		出来るだけ解りやすく端的に説明するようにしている。	支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			その都度、直接や電話等で悩みや相談をお聞きしながら一緒に考え、助言と支援を行っている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ禍の中、交流が難しくできていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			契約時のみならず、苦情に関する窓口を案内し苦情以外にも気軽に連絡体制を取っている。今のところ苦情はないが、要望等に適切に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			活動概要や行事予定等は毎月の他、その都度お知らせしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			個人ファイル等個人情報書類は鍵付き書庫で保管し取り扱いについては十分気を付けている
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		身振り手振りの他、ひらがな表等を用いたり絵を遣ったりしている。	個人の状態等に応じて意思疎通や情報伝達には配慮しコミュニケーションを取っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ禍の中、感染予防の為、様々な交流は控えている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		さまざまな想定をした避難訓練を実施している	保護者様に周知できていない部分もあるので今後周知していきたい
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		迅速に行動出来るように担当や役割をめぐらしている。	避難訓練等、職員や利用児で実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		職員への周知徹底に努めている。	てんかん発作や服薬等、子どもの状況の聞き取り確認をしている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		職員への周知徹底に努めている。	保護者の方には必ずアレルギーの有無に関して聞き取りを行い対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット事例集を作成し、意識を高める為に職員間で共有している。今後も事故防止に努めていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止の研修を行い、理解を徹底し意識向上に努めている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			身体拘束の利用児も事例もないので計画記載していないが、保護者の方には事故の際の静止の方法等について確認をしている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。